

学年	高校 2 年	教科	数学	科目	数学 B	単位数	3
教科書名	数学 B (数研出版)			副教材名	サクシード数学 II+B (数研出版)		
コース・クラス	中高一貫理系						

I. 目標

数学の基本的な原理や法則を理解させ、知識の習得と技能の習熟を図る。また、それらを的確に活用する能力を育てる。多くの応用問題を通じて、論理的な思考と問題解決技能を修得することを目標とする。

II. 授業のねらい

- 1 章 数 列… 簡単な数列とその和及び、漸化式と数学的帰納法について理解させる。また、それらを用いて事象を数学的に考察させる。
- 2 章 統計的な推測… 統計的な推測を行うための基礎となる確率分布について、基本的な概念や演算を理解させる。

III. 授業の進め方

1. 教科書を中心に、授業を展開する。また、応用力を身につけるため、原則すべての問題を扱う。必要に応じて、大学入試問題等も扱う。
2. 単元ごとに小テスト実施し、定着の度合いを図る。
3. 状況に応じて、問題集等の副教材を使用する。

IV. 学習上の留意点

1. 教科書、授業用ノート、問題集、問題集用ノートを必ず用意して授業に臨むこと。
2. 定期試験の返却後、間違えた問題を確認し、復習を必ず行うこと。
3. 提出物の期限は必ず守ること。

V. 定期試験

教科書と問題集の内容を中心に幅広く出題する。また、模擬試験レベルの問題も出題する。

- 1 学期 中間試験 : 数列
- 1 学期 期末試験 : 数列・数学的帰納法
- 2 学期 中間試験 : 確率分布
- 2 学期 期末試験 : 確率分布・統計的な推測
- 3 学期 学年末 : 数列・統計的な推測

VI. 評価の方法

定期試験、小テスト、提出物の提出状況と内容、授業の取り組み方などを総合的に評価する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	1章 数列 1節 数列とその和	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 数列の意味と基本的な用語が理解できる。 等差数列の和や一般項が求められる。 等比数列の和や一般項が求められる。 和の記号Σを扱える。 階差数列から一般項が求められる。 群数列の第n群の総和が求められる。 基本的な漸化式が扱える。 数学的帰納法を理解して、等式や不等式の証明ができる。
	5			
	6	2節 数学的帰納法		
	7			
二学期	9	2章 統計的な推測 1節 確率分布	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 確率変数と確率分布が理解できる。 分散と標準偏差が求められる。 確率変数の和と期待値が理解できる。 独立な確率変数と期待値・分散が理解できる。 二項分布が理解できる。 正規分布が理解できる。
	10			
	11	2節 統計的な推測		<ul style="list-style-type: none"> 母集団と標本について理解する。 標本平均の期待値と標準偏差が求められる。 推定を理解できる。
	12			
三学期	1	数学B 総復習 (基礎学力到達度テスト対策)	定期試験 小テスト 提出物	<ul style="list-style-type: none"> 数学B全範囲の問題演習。
	2			
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもある。

※ 教材として、入試問題を扱う。